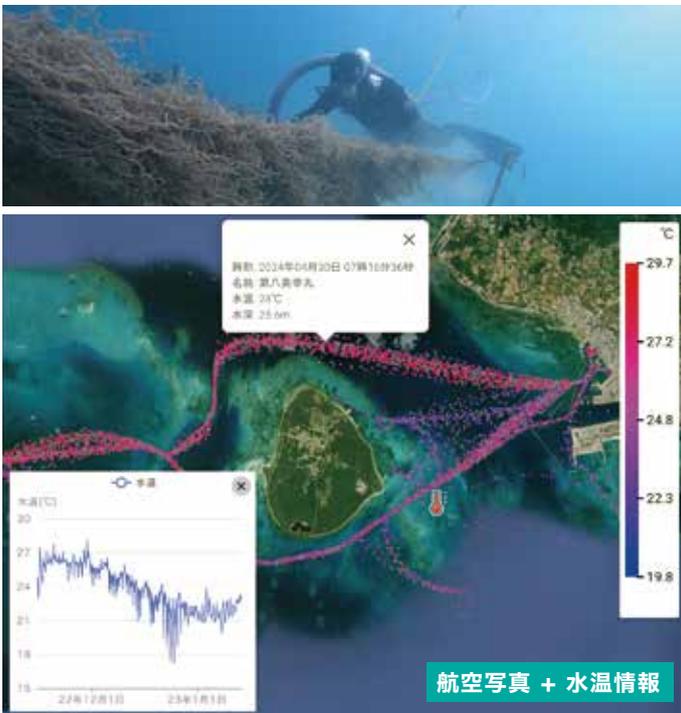


沖縄県石西礁湖のモズク養殖とサンゴ保護にGIS活用

モズク養殖向け水温マップ

- 航跡に沿った水温データを複数船隻で共有し面的な温度分布を把握可能
- 定点観測した過去データも同一マップにグラフ表示して、判断材料を多彩にできる
- 過去と現在の水温データを活用してモズクの生産計画を適正化



SeaUp®
Submarine Topography
Surface Temperature

複数漁船の**水温センサー**や既設魚群探知機から得られる測深データをLTE網でクラウドに常時接続します。蓄積した漁船ビッグデータをもとに**海水温マップ**をWEBアプリでSaaS提供しております。

水産庁による「令和6年度スマート水産業普及推進事業」として、三重大学 岡田拓己准教授との教育連携により、八重山漁業協同組合様に導入されました。

サンゴ白化の影響因子を分析

- 漁船の平時運用の計測データを蓄積して3D海底地形マップを毎年更新可能
- サンゴの白化場所をマッピングして白化要因と地形・海流等の影響度を把握
- 水温や他の環境情報を上書きして白化に関わる環境因子を分析可能とする



SeaUp®+
Submarine Topography
Surface Temperature
Payao Navi 2021

SeaUp®プラスは地理的位置や環境情報を手がかりに海洋資源（**生物・鉱物・エネルギー**）を総合的に管理・分析し、空間的に可視化する**海のGIS**です。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社様による「令和4年度ゼロエミッション推進に向けた事業転換支援事業」を活用して開発されました。